



こども未来部の使命・役割を教えてください！



- ◇ こども未来部は、こども育成グループ（8人）と文化スポーツグループ（6人）の2グループで構成し、「子育て支援に関すること」「子どもの育成に関すること」「生涯学習、文化及びスポーツに関すること」を所掌しています。

こども未来部長 中村孝徳

- ◇ 保育ニーズに対応した子育て環境を整備し、安心して子どもを生み、育てられることを実感できるような取組みや、個人的な学びを通して、地域への興味・関心高め、まちづくりへの活力へと高めていく取組みを進めることが、こども未来部の使命・役割であると考えています。

平成29年度上半期の成果・課題を教えてください！



市誌編さんについては、編集委員会を立ち上げ、調査・執筆活動を始められました。また、大山公民館のあり方については、どうしたら地域主体で運営できるかの検討を開始しました。

「子ども・子育て支援事業計画」に基づく、高取幼稚園・高取保育園の民営化・認定こども園化については移管事業者を決定、また、保育を担う人材育成についても、進めることができました。

平成29年度下半期に向けて、市民の皆さんへ一言メッセージを！



市誌編さんについては、高浜に関する様々な資料を探していますので、情報をお寄せください。生涯学習施設のあり方については、意見交換をしながら、一歩ずつ進めていきたいと考えております。

高取幼稚園・高取保育園の民営化・認定こども園化については、今後、移管事業者と詳細を詰めていきますが、ご意見等がありましたら遠慮なくお寄せください。

■ 編集・発行 ■

高浜市役所 企画部 総合政策グループ

TEL 0566-52-1111（内線 339） FAX 0566-52-1110

E-mail seisaku@city.takahama.lg.jp

発行年月 平成 29 年 11 月



「思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま」をめざして

平成29年度

高浜市では、こんなことに力を入れて取り組めます！

こども未来部長の 実行宣言！



【上半期の振り返り&下半期のアクション】



- ◇ 高浜市では、「住んでよかった！」「いつまでも住み続けたい！」と思えるまちを目指し、行政だけでなく、市民の皆さんとともに、みんなで力を合わせてまちづくりに取り組んでいくことを基本姿勢としています。

- ◇ まちづくりの第一歩は、まちの課題を知ること、情報を共有することから始まります。そこで「今、高浜市ではどんなことが課題になっているのか」「そのために、市役所ではこの1年間で、どんなことを重点的に取り組んでいこうと考えているのか」といった取組項目や推進の決意を「〇〇部長の実行宣言」として部局ごとにとりまとめ、5月に公表しました。

- ◇ 今回は、上半期（4～9月）の取組状況と、上半期の成果・課題を踏まえた下半期（10～3月）の具体的なアクションについて、紹介します。



平成29年度 こども未来部では、こんなことに力を入れて取り組んでいます！【上半期の取組状況と下半期のアクション】

アクション 1

「高浜市誌」編さんに向けて、調査・執筆活動を本格的に開始します！

【担当 文化スポーツグループ】

市誌発行から約40年が経過し、この間、市の状況は大きく変化してきました。しかし、高浜市のあゆみを知ることができる貴重な資料の保存や、人々の中にある記憶をとどめる作業は、十分とはいえない状況にあります。市民の共有財産である資料等の散逸・消失を防ぎ、今を生きる私たちや将来のまちづくりに活かせるようにしていくことが重要です。

具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 「市誌編集委員会」を立ち上げます。
- ◇ 情報提供、資料の掘り起こし、語り、調査、執筆など様々な形で市民の皆さんに協力を呼びかけます。
- ◇ 「中間報告会」を開催します。

6月完了

順調

順調

上半期を振り返って【成果・課題】

「市誌編集委員会」が発足し、市民や大学生、学識経験者とともに、産業の移り変わりやまちのあゆみ・人々の記憶を記録に残すための本格的な活動が始まりました。情報が寄せられることも増え、参加の輪が少しずつ広がりを見せています。

下半期の具体的なアクション

- ◇ 「市誌編さん中間報告会」を開催し、「聞き書き」の成果を中心に、編さんの進捗状況を共有します。**平成30年3月までに実施**
- ◇ 「広報たかはま」の奇数月の1日号において連載を行い、進捗状況などを発信します。**平成30年3月まで実施**

アクション 2

生涯学習施設の総量圧縮・機能移転に向けた検討等を進めます

【担当 文化スポーツグループ】

公共施設の複合化・集約化などの取組みは、人口構造や財政状況といった市の将来を見据え、「公共施設総合管理計画」に基づいて計画的に取り組んでいます。市としての生涯学習や公共施設に対する方針を市民の皆さんにお示しし、限られた財源の中で、どのようなまなびの場が市民の皆さんや地域にとって大切なのかを、ともに考えていくことが大切です。また、利用者等に対して早めに情報を発信していくことも大切です。

具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 大山公民館のあり方（保有形態の見直し）について、地域とともに協議を始めます。
- ◇ 勤労青少年ホーム跡地活用に向けて、民間事業者から提案を募集し、実施事業者を選定します。
- ◇ 図書館のあり方（機能移転）について、市民の皆さんとキャッチボールしながら素案をまとめます。

順調

順調

遅延

上半期を振り返って【成果・課題】

- ◇ 大山公民館は、市として保有しない方針であることを地域にお伝えし、地域が主体となって運営する場合の課題等について検討を進めています。
- ◇ 勤労青少年ホーム跡地活用事業は提案の審査段階にあり、順調に進んでいます。
- ◇ 図書館はこれまで培ってきた強みを活かし、子どもの育ちやまちづくりを支える機能を重視した「課題解決型の図書館」をめざして、意見交換を進めていく必要があります。

下半期の具体的なアクション

- ◇ 勤労青少年ホーム跡地活用に向けて、民間事業者からの提案を審査し、実施事業者を選定します。**平成30年3月までに実施**
- ◇ 市民の皆さんとキャッチボールしながら、高浜市にふさわしい図書館のあり方（機能移転）を検討します。**平成30年3月までに実施**

アクション 3

「子ども・子育て支援事業計画」に沿った多様で柔軟な保育サービスの提供体制を整えます！

【担当 こども育成グループ】

社会経済情勢の変化に伴う女性の社会進出の増加等により、子育てと仕事の両立を求める声は、年々高まっています。

子育て・子育てを総合的に支援するため、「子ども・子育て支援事業計画」に沿って、多様で柔軟な保育サービスの提供体制を整えていくことにより、安心して子どもを産み、育てられる環境を整えていくことが重要です。

具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 高取幼稚園・高取保育園の民営化・認定こども園化の移管事業者を決定します。
- ◇ 高取幼稚園・高取保育園の民営化・認定こども園化のため、敷地の測量を実施します。

6月完了

7月完了

上半期を振り返って【成果・課題】

- ◇ 高取幼稚園・高取保育園の民営化・認定こども園化の移管事業者を社会福祉法人清心会に決定しました。
- ◇ 募集結果を広報や公式ホームページ等でお知らせしました。
- ◇ 9月16日に在園児の保護者向けに説明会を開催し、質問・意見をお聞きしました。

下半期の具体的なアクション

- ◇ 高取幼稚園・高取保育園の民営化・認定こども園化に必要な準備を進めます。**平成30年3月までに実施**
- ◇ (仮称) たかとりこども園の運営等に関する協議をしていきます。**平成30年3月までに実施**

アクション 4

子育て支援の人材育成により、子どもの成長を応援する大人を増やします。

【担当 こども育成グループ】

保育ニーズは引き続き、増加傾向です。これまでも、人材養成の一環として、子育て・家族支援者養成講座を開催し、地域で子どもの成長を応援する人材の確保を進めてきました。

今後、さらに子育てしやすいと感じていただけるよう、地域の子育て支援の人材確保のため、人材養成を進めていきます。

具体的には…【計画と実行状況】

- ◇ 子育て・家族支援者養成講座を開催し、家庭的保育者と子育て支援員の認定をします。

9月完了

上半期を振り返って【成果・課題】

5月～9月まで、子育て・家族支援者養成講座を開催し、5名の家庭的保育者と9名の子育て支援員を認定しました。

下半期の具体的なアクション

- ◇ 引き続き、家庭的保育者の現任研修を実施します。**平成30年3月までに実施**
- ◇ 次年度の実施計画を策定します。**平成30年3月までに実施**